



混合燃料

無鉛レギュラー  
ガソリン

25:1

2ストローク用  
オイル左記以外や25:1~50:1  
のような幅を持たせた  
混合燃料使用不可

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に  
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は  
WEB取説を  
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。  
どうぞご理解ください。



## 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

## ！警告（製品に係る安全事項）



禁止

本製品は、落ち葉や枯れ葉を吹き飛ばしたり吸い込んだりする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。

換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

回転している部分の近くに手または足を入れないでください。

エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。

改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。

正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。

未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。

成年者でも、操作の仕方がよく分からぬ場合は、独自の使用をしないでください。



強制

燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。

燃料をこぼさないように注意してください。

燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。

燃料キャップは確実に閉めてください。

チューブの取付けは確実に行ってください。

作業するときは必ず両手でしっかり本体を保持してください。

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

始動前点検を実施してください。

使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。

燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。

子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

ご使用前にこの説明書をお読みになり、取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。

## ⚠ 注意 (製品に係る安全事項)

禁止	古い燃料は使用しないでください。	強制	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	25:1の混合燃料以外は使用しないでください。		長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
強制	本製品をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。		部品交換は、純正部品を使用してください。
	給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。		定期点検整備を行ってください。

## ⚠ 警告 (作業に係る安全事項)

禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは使用しないでください。	強制	運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人やペットが近づかないようにしてください。		長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、保護メガネ、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、周囲の状況や視界が悪いときは使用しないでください。		長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		適切な間隔で休憩をとってください。
	不安定な場所、姿勢で使用しないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	急傾斜地では使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合は、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
	機械の可動部分に絡まるような衣服は着用しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、完全に止まってから燃料タンクから燃料を抜いてください。
	人やペットにノズルを向けて使用することは絶対にしないでください。		常に風向きを考え、風上から風下に向かって作業をしてください。
			風圧の反動で本体がブレることがあります。ハンドルをしっかりと保持してください。

## ⚠ 注意 (作業に係る安全事項)

禁止	機械の可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	強制	万が一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
	石、金属片、ガラスなど硬質な物に向けて使用しないでください。		本機を長期間使用しないときは、取扱説明書に従って保管してください。
	作業中に異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。		屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、子供の手の届かない場所に保管してください。
強制			

## ⚠ 注意

- 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れないでください。
- 燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。



## 主要諸元

モデル名	HG-EB260
エンジン	2ストローク空冷エンジン
排気量	25.4cm <sup>3</sup> (cc)
燃料	混合燃料 (25 : 1)
燃料タンク容量	0.65L
始動方式	リコイルスターター
最大風速	75m/s
最大風量	7.8m <sup>3</sup> /min
互換点火プラグ	BPM7A(NGK)
騒音	103dB
本体サイズ (幅×奥行き×高さ)	220 × 340 × 340mm
重量	本体 4.1kg / フラットノズル装着時重量 4.4kg
3軸合成値	5.5m/s <sup>2</sup> K=1.5

弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 振動障害の防止

### ● 1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

10m/s <sup>2</sup> より小さい場合	
1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内

### ● 製造時の振動レベル維持のため

- 定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- 異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

## 各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



## 梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

## ⚠ 警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。



※写真はプロトタイプのため、製品仕様は変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

## ■ご用意いただくもの

### 混合燃料を作る場合に必要になります

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・2ストローク用オイル JASO FB または FC、FD
- ・漏斗（じょうご）

## 組立て

### ⚠️ 警告

- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。
- ・組立には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

### ノズルアタッチメントの取付け

- 1 本体のノズルアタッチメント取付口に、ノズルアタッチメントを挿込みます。



- 2 ノズルアタッチメントを止まるところまで回し、更に「カチッ」となるまで回します。



- 3 本体のネジ穴とノズルアタッチメントの穴が合っていることを確認します。



- 4 付属のネジで固定し、プラスのドライバーで締付けます。



### ラウンドノズルの取付け

- 1 ノズルアタッチメント先端にラウンドノズルを挿込みますが、最終的に「THIS SIDE UP」の刻印が上に来るようになります。



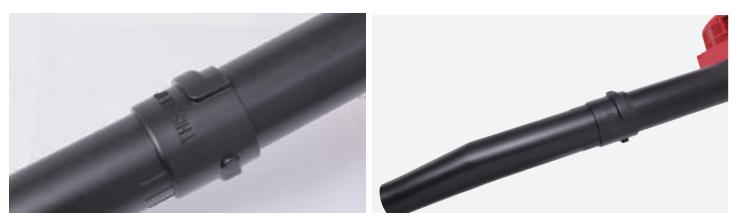
- 2 ノズルアタッチメントにラウンドノズルを挿込みます。「THIS SIDE UP」の刻印は反対側です。



- 3 ノズルアタッチメントを止まるところまで回し、更に「カチッ」となるまで回します。



- 4 ラウンドノズルの「THIS SIDE UP」の刻印が上に来ていれば、正しく取付けられています。



## フラットノズルの取付け

- 1 フラットノズルに付いているネジを緩めます。ノズル内部を覗いて、ネジが飛び出でていないことを確認します。



- 2 ノズルアタッチメント先端にフラットノズルを挿込みます、最終的に「THIS SIDE UP」の刻印が上に来るようになります。



- 3 ノズルアタッチメントを止まるところまで回し、更に「カチッ」となるまで回します。



- 4 プラスのドライバーでネジを締付けます。



- 5 フラットノズルの「THIS SIDE UP」の刻印が上に来ていれば、正しく取付けられています。



## ショルダーベルトの取付け

- 1 ハンドルの前後にある取付け穴にショルダーベルトを取付けます。



## 運転前の点検

### ⚠ 警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。  
ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きります。
- ・混合燃料は、一度に使い切る量だけ作ってください。

### ⚠ 注意

- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れないでください。



## 混合燃料 25:1 の作り方

市販の 25 : 1 ~ 50 : 1 というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。  
エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1
- ・無鉛レギュラーガソリン
  - ・2ストローク用オイル JASO FB または FC、FD
  - ・漏斗(じょうご)
  - ・混合タンク(付属)
- を準備します。
- 2 混合タンクを 25 : 1 と表示されている面を正面に向けます。

- 3** 混合燃料 25:1 を作る場合、①無鉛レギュラーガソリンを「500」のラインまで入れ、②2ストローク用オイルを「25:1」のラインまで入れます。



- 4** 混合タンクのキャップをしっかりと閉め、混合タンクを振り、カクハンします。

25:1 ガソリン オイル割合 早見表	ガソリン 100ml	オイル 4ml	ガソリン 400ml	オイル 16ml
	200ml	8ml	500ml	20ml
	300ml	12ml	600ml	24ml

## 燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

使用燃料	混合ガソリン (25:1)
------	---------------

## ■燃料の給油

- 1** 混合燃料(25:1)を準備します。

- 2** 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3** 混合燃料(25:1)を、こぼさないよう少しづつ漏斗(じょうご)等を使い給油します。

- 4** 給油が終わったら燃料キャップをしっかりと閉めます。



## エアクリーナーの点検

エアフィルタを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。(WEB取説の点検整備・清掃の仕方「エアクリーナーの点検・清掃」参照)



# 運転操作の仕方

## ⚠ 警告



- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。
- やけどする危険がありますので高温部に触れないでください。
- 回転している部分の近くに手または足を入れないでください。



- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 必ず両手でしっかりと本体を保持してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。

## ⚠ 注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

## ■エンジンのかけ方

### ■エンジンが冷えているときのかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

- 1** エンジンスイッチを ON 「|側」にします。



- 2** プライマリーポンプを 5~6 回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



- 3** チョークレバーを引上げ「閉」にします。この時、写真のように確実に上までレバーを上げてください。



**4** 本機をしっかりと保持し、リコイルスターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐに素早く60～70cm 引張ります。

※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



## ⚠ 注意

チョークレバーを「閉」の状態で、リコイルスターを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。

**5 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5回繰り返します。**

## ⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・引いたリコイルスターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

## 💡 リコイルの引き方ポイント

※写真は、別機種



①良い例：約70cm引いている。

②良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。

③悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

## ●初爆が確認できた場合

**1 チョークレバーを押し下げ「開」にします。**



**2 リコイルスターを素早く数回引きます。**

※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。

**3 エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。**

## ●初爆が確認できなかった場合

**1** 万が一初爆を聞き逃した場合でも、リコイルスターを引くことは5回でやめてください。それ以上行うと点火プラグを燃料で濡らしてしまい、エンジンがかからなくなります。

**2 チョークレバーを押し下げ「開」にします。**



**3 リコイルスターを素早く数回引きます。**

※エンジンが冷えているときや燃料切れで補充したときは、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。

**4 エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。**

## ●初爆と同時に始動した場合

**1 チョークレバーを押し下げ「開」にします。**



**2 そのまま暖気運転を30秒程度行います。**

## ■エンジンが温まっているときのかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

**1 エンジンスイッチをON「I側」にします。**



**2 プライマリーポンプを数回押し、燃料が溜まっていることを確認します。**



- 3** チョークレバーを押し下げ「開」にします。



- 4** 本機をしっかりと保持し、リコイルスターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐに素早く60～70cm引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。

※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



## ⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 5** エンジンがかからない場合は、(WEB取説の運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)を行ってください。

- 6** アクセルトリガーを握るとエンジンの回転が速くなります。



## エンジンの止め方

- 1** アクセルレバーから手を放し、低速運転にします。



- 2** エンジンスイッチをOFF「○側」に押します。



※詳細はWEB取説をご覧ください。

## 保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

### 1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

### 2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができる場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点では保証は無効となります。

### 3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）

(11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピング等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等）

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

### 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

### 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手順方法をご案内させていただきます。

### 6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫販売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、販売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第販売者への措置を取らせていただきます。

## ■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。弊社で商品をお買い上げの方に限られていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル検索

<https://haige.jp/>